

平成25年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第6回）議事要旨

1 日 時 平成25年11月1日（金）15：00～17：10

2 場 所 新見市役所 第4委員会室

3 出席者

（1）評価委員会 新中委員長、森口委員、杉委員

（2）事務局 上山課長、関野係長、西山主査

4 議 事

中期目標（第2期）（案）について

今回から新しく評価委員会委員として参画いただく方がおられるので、まず、事務局から中期目標期間の評価委員会の周期と今年度の評価委員会の日程（資料1）について説明した後、中期目標（第2期）（案）（資料4）について、審議した。

事務局から、中期目標の策定方針と中期目標案の概要（資料3）及びこの案は地方独立行政法人法第78条の規定により、公立大学法人新見公立大学が新見市に提案した原案を基に、相互に協議を重ねて作成したものであることを説明し、第1期と第2期の中期目標新旧対照表（資料5）により、第1期と第2期で変更となった内容について大項目Ⅰから大項目Ⅷまで順に説明した。

審議の結果、中期目標（第2期）（案）について、内容の修正を行うことなく、原案は、「適当である」とした意見書を市長に提出することとした。

詳細は、以下のとおり。

委員発言要旨	事務局回答要旨
<p>[Ⅰ 基本的目標] について</p> <p>○新見には学生が勉強できる環境があり、新見で学んだ学生は卒業し就職した他県でも活躍する人材が育っている。</p> <p>○修正意見なし</p> <p>[Ⅱ 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織] について</p> <p>○これからの社会に全て必要な学部学科であり、選び方が良かった。</p> <p>○廃止された看護学専攻科には半数ぐらいは実社会で看護の仕事をしていた方がいてしかも半数ぐらいは新見公立短期大学以外の卒業生であったので現役学生にとっても良い影響を与えた。大学院ができてどうなるか期待する。</p> <p>○修正意見なし</p> <p>[Ⅲ 教育研究等の質の向上に関する目標] について</p> <p>1 教育に関する目標</p> <p>1) 教育の内容</p> <p>○修正意見なし</p>	

<p>2) 教育の実施体制</p> <p>○「短期大学の将来あるべき姿を検討する」とは、4年制大学化あるいは学科を替えるとか、次期6年間には変化があるかも知れないということですか。</p> <p>○修正意見なし</p> <p>2 研究に関する目標</p> <p>1) 研究の内容</p> <p>○修正意見なし</p> <p>2) 研究の実施体制</p> <p>○修正意見なし</p> <p>3 学生の確保及び支援に関する目標</p> <p>1) 学生の確保に関する目標</p> <p>○市内からの入学者が少ないこと、また卒業後地元に戻るなどの理由もあり市内に就職する学生が多くないことが残念である。新しく市内就職者に対する奨学金制度もできて成果を期待している。</p> <p>○統計では短期大学ができて以来30年余りに市外からの学生400人近くが新見に定住している。</p> <p>○大学があって学生が他所から来て新見で交流して街が活気付く。</p> <p>○大学は優秀な学生を輩出しているため市内にその受け皿が必要であり、市内の若者でさえ市外に就職している現状では難しいことであるがこれからの課題でもある。</p> <p>○修正意見なし</p> <p>2) 学生の支援に関する目標</p> <p>○新見公立大学は私立大学、国立大学に比べて授業料が安い、他市に比べて住宅費が安くない。</p> <p>○修正意見なし</p> <p>[IV 社会貢献に関する目標] について</p> <p>○社会貢献に関する新しい項で起きたことはこれから必要なことであり良いことである。</p> <p>1) 教育研究の成果を地域に還元し、地域福祉の充実に貢献する。</p> <p>○修正意見なし</p> <p>2) 地域と連携し、地域の活性化及び地域活動に貢献する。</p> <p>○商工会議所の青年部が大学の学生に対し市内の観光地などを巡るツアーを企画したところ、案外学生が行ったことがないことが分かるとともに、新見を知っていただく良い機会となった。土下座祭りには多くの学生が参加しているが、縁が</p>	<p>○大学は、その方向性を次期中期計画で示したいと考えているようです。</p>
---	--

あって新見に来て、イベントも見ただけでなく参加することは学生にとって悪いことではない。

○地域との交流がより良く進んだ。学术交流センターという名称も地域の人が訪れやすく良かった。

○子育て広場の「にこたん」という名称も良い。

○看護の学生も大学まで出向けない高齢者に対して地域に向いている活動していることは良いことである。

○修正意見なし

3) 教育機関と連携し、広く地域の教育に貢献する。

○修正意見なし

[V 業務運営の改善及び効率化に関する目標] について

1 組織運営の改善及び効率化に関する目標

○修正意見なし

2 人事の適正化に関する目標

○修正意見なし

[VI 財務内容の改善に関する目標] について

○前回の評価委員会で協議した内容が全て盛り込まれている。

1 自己収入の確保に関する目標

○授業料が抑えられていることが大学の魅力にもなっているため、授業料を上げるわけにはいかないのに、間違いなく払ってもらおうようにするしかない。

○授業料については年度評価の際に年度途中では未納があるが年度末までに完納していると聞いている。それぞれの事情について大学が細かい対応をしている。

○途中で退学者が出れば損失である。

○修正意見なし

2 外部資金の獲得に関する目標

○公立大学は看護、幼児教育、福祉から構成され、産学官の連携において、その研究内容的に産業界から大型の研究資金を獲得することが難しい。大学院ができれば医療関係との連携ができるかも知れない。外部資金獲得の点について大学では今までにも実績のある文科省などの補助金付の研究にいかに取り組みか努力することしかない。

○修正意見なし

3 経費の抑制に関する目標

○修正意見なし

<p>[Ⅶ 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標] について</p> <p>1 自己点検及び自己評価に関する目標</p> <p>○修正意見なし</p> <p>2 情報公開及び情報発信に関する目標</p> <p>○ケーブルテレビを通じて大学のいろいろな取組がよく紹介されていることで、みなさんが大学についてよく分かっていることは良いことである。</p> <p>○修正意見なし</p> <p>[Ⅷ その他業務運営に関する重要事項] について</p> <p>○修正意見なし</p> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期目標の期間の終了時における検討の際に、委員会として次期中期目標に反映していただきたい内容について意見を付した中の「入試倍率を維持し」の文言がこの中期目標（案）に反映されていないことについて <p>○この意見を付した以降に、政府による教育再生実行会議において大学の入試制度を大きく改革する提言がされようとしている状況であり、理解できる。</p> <p>[総 合]</p> <p>○目に付くのは地域貢献で大学の地域における活動である。日本の情勢が変化するなかで新見市あるいは大学がどのような学生を求めるか、大学の将来像を見据えてどのように運営していくか、また5年後10年後を見据えて現在とタイアップしながら進める必要がある。</p> <p>○1期の目標に比べてかなりスリムになっていて、整理したことは1つの方法（方向）である。1期の目標を作成したときは皆初めてで、いろいろと詰め込んだ感じがある。計画の段階で膨らませていくことも必要である。</p> <p>○1期の目標と比べてコンパクトで内容もこれまでの課題を網羅している。</p> <p>○第2期中期目標に関しては本案のとおり適当と認める。</p>	<p>○少子化の進行により、今後入試倍率は少しずつ低下することが見込まれるという大学の意見に配慮したものです。</p>
---	---

以上